

# 多摩川 138 キロを遡上する旅

## 第 2 弾の丸子橋からは政橋までの記録

2019/05/19

川崎の産業観光を支援する会 根岸雅明



丸子橋



是政橋

丸子橋からは政橋まで歩きました。

2019.5.23

## 多摩川遡上 138 キロの旅

川崎の産業観光を支援する会 根岸雅明

【概要】長年の課題であった多摩川の河口から源流まで歩こうとの計画がようやく今年実現されました。数年前に西山さんと多摩川の源流の山。笠取山に登りましたが、その後、諸事情がありなかなか実現できないでいました。

川崎の産業観光の検定試験の問題にも出題された多摩川の源流の笠取山と多摩川は河口から源流まで総延長は 138 キロあるそうです。これを河口から笠取山まで遡上しながら歩こうという計画です。

多摩川は川崎に多大な恩恵を与えてきた母なる川だと言われています。昔を偲び今を見て歴史、文化、自然などを体験、観察しながら学びの旅とし行きたいと思います。

今回は第二弾で参加しました。以下はその記録です。

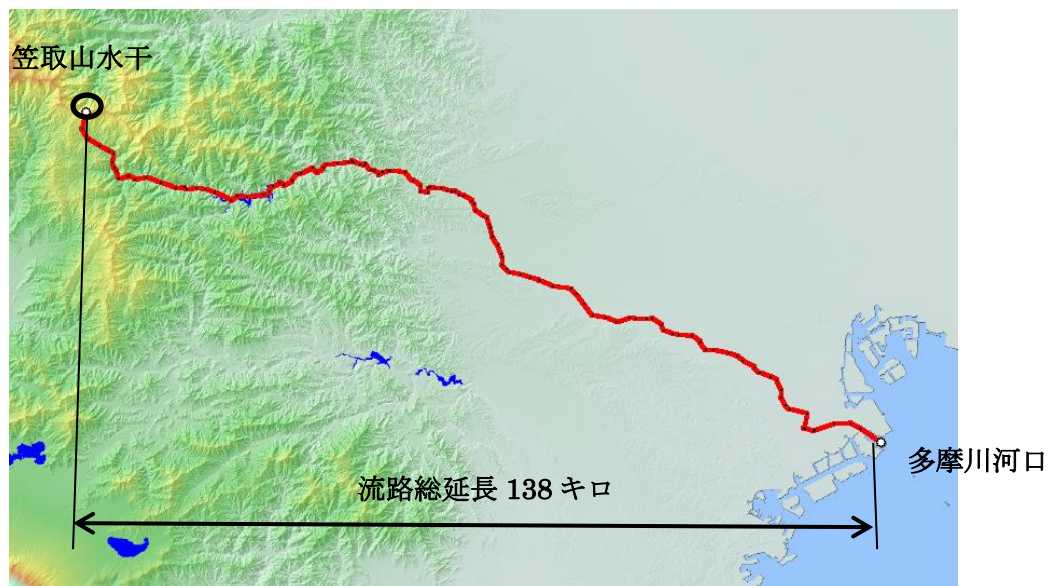
【日付】令和元年 5 月 19 日（日）晴れ

【メンバー】加藤邦彦、西山孝、根岸雅明 3 名

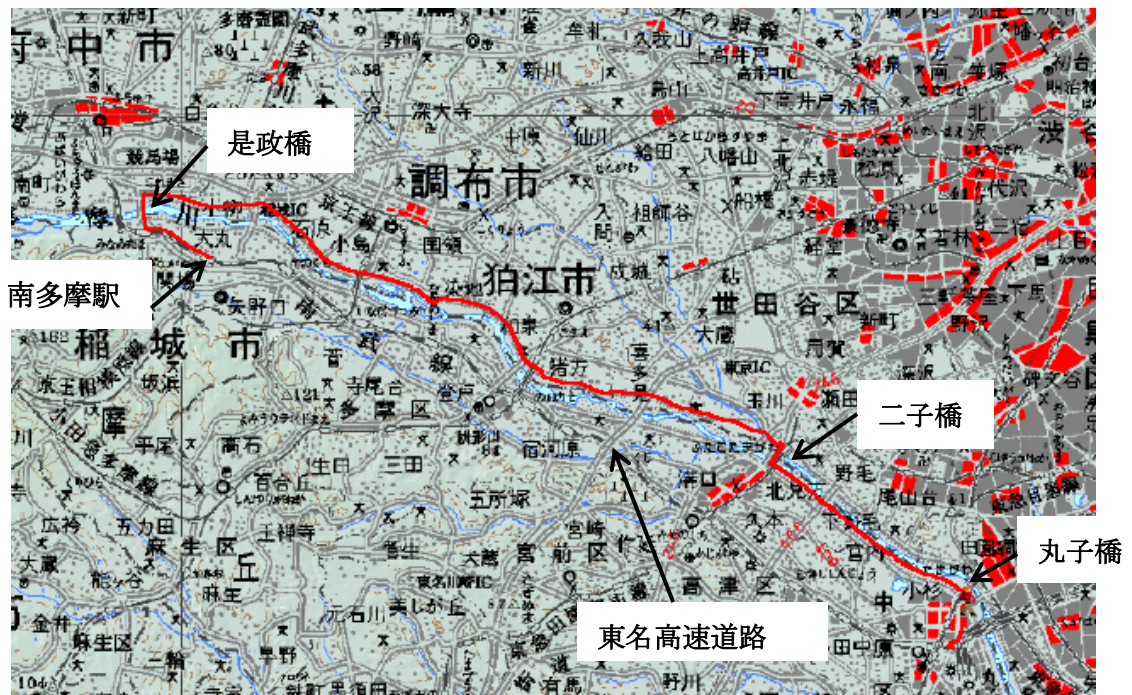
【コース概要】武蔵小杉駅スタート 9:00…丸子橋…二子橋…東京側へ…是政橋…16:00 南多摩駅ゴール

【歩行距離】沿面距離約 24 キロ。行動時間約 7 時間（スタート 9 時。ゴール 16 時）

【地図】



第二弾で歩いたルート 歩行沿面距離 24 キロ。スマホ歩数計 41,700 歩



歩行沿面距離はガーミンデータより

武蔵小杉駅から二子橋までの地図



二子橋から多摩水道橋（登戸）付近まで



多摩水道橋から多摩川原橋まで



多摩川原橋からは政橋、南多摩駅まで



【感想】第二弾を歩いて感じたことは多摩川は自然がとても豊かで市民の憩いの場として、そして絶大な広々とした空間を提供しているなと感じました。上流から吹き渡ってくる風がとても心地よかったです。

この河川敷を利用してバーベキュー広場やマラソンコース、野球などのグラウンドなどが整備されて大勢の人々に利用されています。警視庁のパトロール隊の教育訓練場としても利用されているのを見て驚きました。

自然がとても豊かだと書きましたが、なぜかヤナギの木やオニグルミの木が沢山ありました。上流の奥多摩地方から実が流れて、この地に根づいたのだろうか。また中洲のこんもりとした林のなかにはビワの木があり実がなっていました。

タンポポはもちろんシロツメクサ、紫の濃いカラスノエンドウの群落なども観られました。昔、小学校に通う道すがら見られたおなじみの草花が見られました。都会に住んでいるとこのような景色を忘れていて、この多摩川を歩きながら郷愁を感じさせてくれました。

鳥ではウグイスやシジュウカラの鳴き声もきかれました。

岡本かの子の歌碑もありました。「多摩川の 清く冷たく やわらかき 水のこころを 誰に語らむ」本当にその通りだなと思いました。

渡しの碑もあり歴史や文化、自然を探索する多摩川遡上のハイキングを仲間たちとおしゃべりしながら堪能しました。次回の南多摩の是政橋から先の第三弾が楽しみです。何を発見できるだろうか。

【写真】



武蔵小杉駅スタート



丸子橋



とても広々とした空間です。丸子橋のたもとより。鉄橋は東横線。



バーベキュー広場



なんとこの河川敷にサーキットがあったとのこと。1936年から第二次世界大戦前まで開かれていて、ホンダの本田宗一郎などが自動車やオートバイの性能の技術を磨いていた場所だったと記されていました。驚きの発見でした。



オニグルミの木



多摩川の河川敷にはなぜか沢山のヤナギの木がありました。





岡本かの子の歌碑



少年野球チーム



二子橋に向かって歩く。見える鉄橋は溝ノ口と二子多摩川を結ぶ東急田園都市線。



二子橋を東京に向かって歩く。



二子橋から上流側を望む。246号の新二子橋。



二子橋のたもと。大勢のバーベキューのお客さんがいました。



兵庫橋 右手のこんもりした林の中にビワの木がありました。





兵庫橋から下流を望む。この川は野川で二子橋の下で本流の多摩川と合流する。この野川は東京都国分寺市の日立製作所中央研究所の水源から 20 キロ流れてこの場所で合流するとのこと。ネット調べ。



駒沢大学グラウンド



リコーグラウンド



警視庁交通安全指導センター



警視庁パトロール隊の訓練状況を見つめるお二人。橋は東名高速道路です



何の花でしょうか。近くの人にたずねたらクローバーだと言っていた。  
確かに葉っぱはクローバですね。





宿河原堰



魚道



カヌー競技をしていました。



ここにも大きなヤナギの木がありました。



多摩川左岸海から 23 キロ。



背後の橋は多摩水道橋。左手の街なみは登戸。



多摩川水道橋の碑。プラットラス橋。川崎の長沢浄水場から東京都へ配管 1800 mmで水の供給をしている。



河川敷で遅いランチ。コンロでお湯を沸かしてカップ麺。



ヤナギの木の下で。ここにもヤナギの木がありました。



二か領上河原堰。川崎方はこの堰から二か領用水に多摩川の水が引かれています。





走っている人を沢山見かけました。



京王相模原線 左手側が稲田堤



多摩川白衣観音にお参りし小休止  
多摩川が決壊したときに流れ着いた像を祀ったそうです。



カラスノエンドウの大群落



多摩川原橋







稲城大橋。この道が中央高速道路の稲城 IC につながっている。



30 キロ地点



東京電力 北多摩変電所。



是政橋。全長 400m。府中市と稲城市を結ぶ斜張橋。



是政の渡しの碑がありました。東京方の是政村と大丸（現稲城市）とを結んでいた稲城街道（川崎街道）の渡しがあったところ。昭和 16 年に橋ができて役割を終えたとのこと。



ようやくゴールまじかになってきて笑顔になってきました。



PC ランガー橋。ランガー橋はアーチ橋の構造の一種。トラスとアーチを組み合わせた構造。この橋は 2019 年 3 月の八ッ場ダムの見学の時に見た吾妻線の橋と構造的には同じように思えた。のちに調べたところ吾妻線の橋梁は PRC 橋で PRC 斜版橋とも言われていて PC 橋（プレストレスコンクリート橋）のワイヤーをコンクリートで巻き付け板状にして橋脚や橋台と剛結構造としたラーメン構造と合わせたものらしい。機会があればもう一度八ッ場ダムを訪れた時にこの橋を見てみたい。



南多摩駅にゴール。15 時 55 分。



お疲れさまでした。ビールが美味しかった。  
いろんな発見のある多摩川遡上のハイキングでした。  
西山さん。加藤さん。また次回の第3弾を楽しみにしています。  
ありがとうございました。